

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	地域密着型サービス支援事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護給付	係 課長名 伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業 10 介護サービス事業者支援等事業費
-----	---------	-----------	-----------	-----------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内に所在する認知症高齢者グループホーム。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象事業所数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 介護保険法では、認知症高齢者グループホームの場合、第三者評価の受審が義務付けられており、適正な受審を行わせる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 受審率
	③ そのために何をしましたか。 受審内容や補助内容の周知をした。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 回数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	2	3	3	
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	
	目 標	②の目標値	%			100%	
		目標値設定の考え方	第三者評価の受審が義務付けられているグループホームの受審率。				
	活動指標	③の数値	回	2	2	2	

3 経費	事業費(実績)		円	748,800	1,096,000	1,096,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	748,800	1,096,000	1,096,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	413,350	412,650	412,200	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	1,162,150	1,508,650	1,508,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成19年度から実施。 認知症高齢者グループホームにおいては年1回第三者評価を受けることが義務付けられ、当該受審費用の補助を実施することにより、適正かつ定期的な受審を促すとともに、受審結果の公表等市民への情報提供、評価、指摘による改善等サービスの向上を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ある一定の条件を満たす場合、受審間隔をあげることができるが、当該3事業所については、現在条件を満たしていない。

仕 事 の 内 容	地域密着型サービス支援事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護給付	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
特になし。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	特になし。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	特になし。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
特になし。				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	特になし。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	特になし。			
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。